

都市の創造性を可視化する

創造都市INDEX



21大都市別調査分析レポート
神奈川県横浜市版

CONTENTS

- ・創造都市INDEXとは
- ・創造性を示す10の指標
- ・開発方法
- ・21都市の創造性 - 横浜市 -
 - 創造都市スコア 21都市ランキング
 - 創造都市スコア 性・年代別
 - 指標別ランキングTOP5
- ・横浜市の創造都市バランス
 - 他都市との創造都市バランス比較
- ・創造性を高める都市インフラ
- ・創造性を高める市民ネットワーク
- ・その他 横浜市の特徴

社会の課題に、市民の創造力を。

issue + design

—

創造都市INDEXとは

issue + designでは、ユネスコ・デザイン都市に認定されている神戸市と共に、市民の持つ創造力を活かし、地域・日本・世界が抱える様々な社会課題の解決に挑んでいます。活動を続ける中で浮かんだ、「市民の持つ創造力」とは何か？ それを高めるための工夫はできないか？ という疑問から、都市の創造性を可視化するための指標「創造都市INDEX」とその調査システムを開発。20の政令指定都市と東京都23区で、8,800サンプルに向けた調査を実施しました。創造性の高い地域の特徴や各都市の創造性の特徴を分析し、都市の創造性を高める活動につなげていきたいと考えています。

—

創造性を示す10の指標

「創造都市INDEX」は、10の指標から構成されています。10指標は「攻」の5指標、「守」の5指標があります。「攻」「守」に優劣はありません。攻守の側面を知ることで、各都市の創造性やその特徴が見えてきます。

攻

新しいものに触れ挑戦する、
未来に向けて前向きな行動姿勢、価値観


チャレンジ

新しいこと、困難なことに
挑戦するのが好きだ


異文化交流

市外、県外、外国人など他地
域の人と交流するのが好きだ


独立心

人の目を気にせず自分の
やりたいことをやる


芸術・文化

芸術、文化、美を大切に
毎日を暮らしたい


遊び心

遊び心、ユーモアを大切に
毎日を暮らしたい

守

古いもの、異なるものを尊重し、
自分、地域、社会に寄り添う行動姿勢、価値観


受容性

マイノリティ(性的少数者、少数
民族、障がい者など)を受け入


次世代育成

未来を担う子どもたちを育
てる、役立つことをしたい


社会貢献

人のために、社会のために
役立つことをしたい


伝統継承

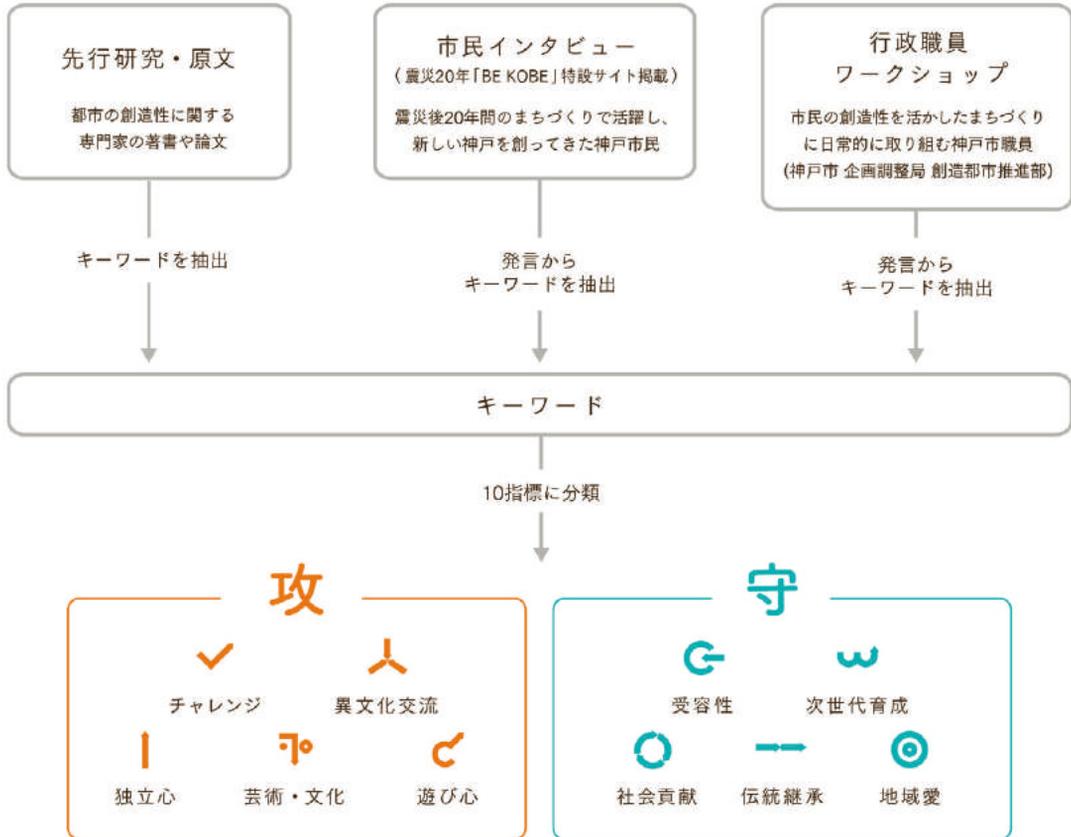
昔から伝わる知恵、技術、文
化を大切に毎日を暮らしたい


地域愛

自分が暮らしている地域が
好きだ

開発方法

「創造都市INDEX」の作成にあたって、先行研究、神戸市と共同で行った市民インタビュー、ワークショップを実施しました。キーワードを抽出し、創造的な人材の持つ資質を10個に整理してアンケート調査により聴取可能な質問文を作成しました。



「創造都市INDEX」調査概要

調査期間	2015年12月4日～12月15日
調査方法	インターネット
調査対象者	政令都市20都市、または東京23区在住の20歳～64歳までの男女
対象地域	21都市 北海道札幌市、宮城県仙台市、東京23区、神奈川県横浜市、愛知県名古屋市、大阪府大阪市、京都府京都市、兵庫県神戸市、広島県広島市、福岡県福岡市、神奈川県川崎市、千葉県千葉市、埼玉県さいたま市、新潟県新潟市、神奈川県相模原市、静岡県静岡市、静岡県浜松市、大阪府堺市、岡山県岡山市、福岡県北九州市、熊本県熊本市 ※現在の地域に3年以上お住まいの社会人（単身赴任者と学業専門の学生は除く）
サンプル数	8,800（神戸800、他20都市各400）男女比1：1
年代別内訳	20-34歳（33.5%）、35-49歳（33.5%）、50～64歳（33.0%）

21都市の創造性

- 横浜市 -

創造都市スコア

横浜市は総合12位。創造性10指標のうち、特に強い指標は「独立心（2位）」「芸術・文化（5位）」、追って「地域愛（8位）」が続きました。世代別でみると、真ん中世代（35-49歳）のスコアが突出しています。21都市の平均値では、真ん中世代はM字の谷にあたりスコアが落ち込みます。この世代が高くなる点、横浜市の強みといえるでしょう。

創造性を高める都市のインフラ項目では、「商店街・中心市街地」（3位）、「ナイトスポット（飲み屋、バー、クラブ、ディスコ等）の質と量」（6位）と、横浜市の買い物環境、お店の充実度が出る結果となりました。

都市の創造性を高めるネットワーク分類では「地元不足」に位置します。「別の都道府県に住む友人の数」が多く、地域外でつくる人間関係が豊かな一方、地元での関係が不足する傾向にあります。

今後高めていくべき点としては、若い世代（20～34歳）の創造性を底上げする施策、10指標で低かった「受容性（20位）」「次世代育成（19位）」「遊び心（17位）」を高めるアプローチ等があげられます。特にネットワーク面は「同じ都市の友人」や、「地域の10歳以上離れた友人」のような、地元のつながりを広げる、地域の多様なつながりを広げることを意識すると良いかもしれません。

12位 神奈川県横浜市 400.8

人口	373.2万人（推計人口 2016.6月現在）
面積	435.23km ²
歴史	開港より文明開化、繁華街として発展 1859年（安政 6年） 横浜港 開港 1872年（明治 5年） 新橋～横浜間 日本初の鉄道開通 1923年（大正12年） 関東大震災 1945年（昭和20年） 横浜大空襲、市街地46%が被害 1956年（昭和31年） 政令指定都市に 1964年（昭和39年） 東海道新幹線開通 新横浜駅 2009年（平成21年） 開港150周年
産業	製造業 小売業 サービス業
観光	みなとみらい21 山下公園 中華街
食文化	アイスクリーム・ナポリタン発祥 カクテル、ビール、シュウマイ、横浜ラーメン

*総合スコアの算出方法：
 創造都市INDEX10の質問（1p参照）の5段階評価（非常によく当てはまる、少し当てはまる、どちらともいえない、あまり当てはまらない、全く当てはまらない）のトップ2ボックス（非常によく当てはまる＋少し当てはまる）の合計パーセントを足し上げて算出。



—

創造都市スコア - 性・年代別 -

横浜市は女性のスコアは21都市の平均とほぼ同じ、男性は平均と比べて16ポイント低い結果となりました。

世代別にみても、35-49歳の真ん中世代が最も高い結果となり、平均スコアと比べて約58ポイントも上回っています。21都市の平均では、真ん中世代はM字の谷にあたりますが、横浜市ではこの世代が牽引しているようです。一方で、若い世代（20-34歳）のスコアの低さが目立ちます。若い世代のスコアを高めていくことが、今後の横浜市の創造性を高める鍵のひとつといえるでしょう。

性別

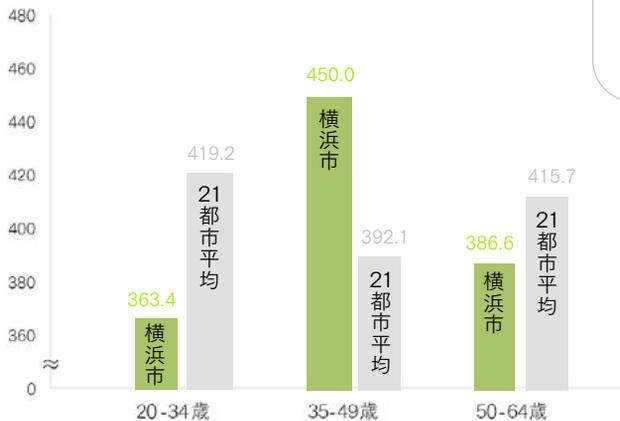
創造都市INDEX
総合スコア



女性はほぼ平均
男性は平均より低い

年代別

創造都市INDEX
総合スコア



真ん中世代のスコアが特に高い
若い世代のスコアが低い

—

指標別ランキング TOP5

それぞれの都市の強みは「創造都市INDEX」10指標の中の、どの指標にあるのでしょうか。順位の高い指標は、その都市の強みとなるものです。また順位が低い場合でも、都市の性格や特徴を知る上で参考になります。

横浜市は10指標のうち、2指標「独立心」「芸術・文化」がTOP5に入っており、追って「地域愛」が強い都市であることがわかります。

攻

✓	人	!	ア	心
チャレンジ	異文化交流	独立心	芸術・文化	遊び心
新しいこと、困難なことに挑戦するのが好きだ	市外、県外、外国人など他地域の人と交流するのが好きだ	人の目を気にせず自分のやりたいことをやる	芸術、文化、美を大切に毎日暮らしたい	遊び心、ユーモアを大切に毎日暮らしたい
1位 大阪府大阪市 33.5	1位 岡山県岡山市 29.8	1位 京都府京都市 42.0	1位 兵庫県神戸市 45.3	1位 静岡県静岡市 68.3
2位 東京23区 32.3	2位 静岡県静岡市 29.0	2位 東京23区 41.8	2位 宮城県仙台市 44.8	2位 大阪府大阪市 65.5
3位 宮城県仙台市 31.0	3位 京都府京都市 28.8	2位 神奈川県横浜市 41.8	3位 京都府京都市 44.3	3位 新潟県新潟市 65.0
3位 新潟県新潟市 31.0	4位 大阪府大阪市 28.0	4位 宮城県仙台市 41.3	4位 静岡県静岡市 43.0	4位 広島県広島市 64.0
5位 埼玉県さいたま市 29.8	4位 新潟県新潟市 28.0	5位 神奈川県相模原市 41.0	5位 神奈川県横浜市 42.8	5位 兵庫県神戸市 63.6
5位 大阪府堺市 29.8		5位 熊本県熊本市 41.0		
14位 神奈川県横浜市 26.8	13位 神奈川県横浜市 24.3			17位 神奈川県横浜市 59.8

守

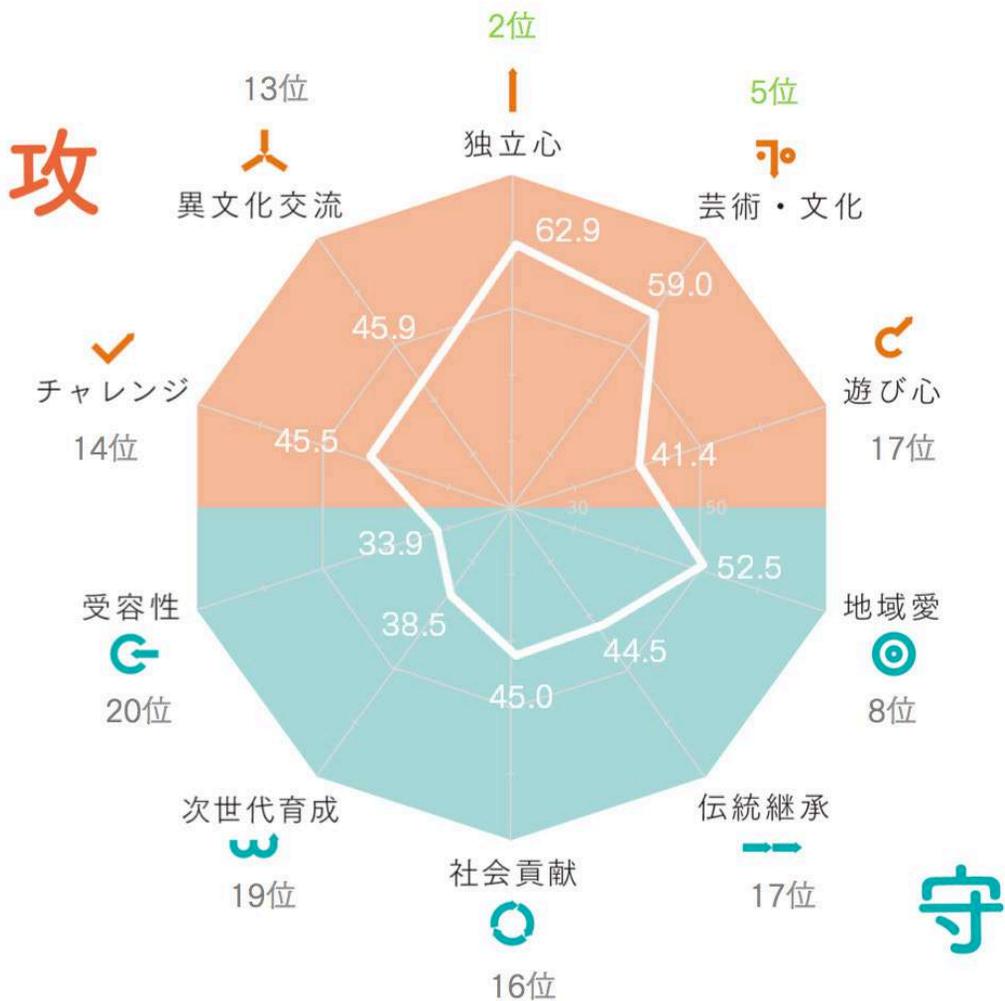
G	w	◎	—	◎
受容性	次世代育成	社会貢献	伝統継承	地域愛
マイノリティ(性的少数者少数民族障がい者など)を受け入れている	未来を担う子どもたちを育て、役立つことをしたい	人のために、社会のために役立つことをしたい	昔から伝わる知恵、技術、文化を大切に毎日暮らしたい	自分が暮らしている地域が好きだ
1位 静岡県静岡市 32.8	1位 熊本県熊本市 47.8	1位 京都府京都市 43.8	1位 静岡県静岡市 57.8	1位 兵庫県神戸市 60.8
2位 京都府京都市 32.0	2位 福岡県福岡市 45.0	2位 宮城県仙台市 43.3	2位 宮城県仙台市 54.8	1位 福岡県福岡市 60.8
2位 宮城県仙台市 32.0	3位 宮城県仙台市 44.3	3位 熊本県熊本市 42.5	3位 京都府京都市 53.0	3位 北海道札幌市 59.0
4位 福岡県福岡市 30.5	3位 岡山県岡山市 44.3	4位 新潟県新潟市 40.8	3位 兵庫県神戸市 53.0	4位 宮城県仙台市 58.8
5位 千葉県千葉市 29.8	5位 京都府京都市 43.3	4位 岡山県岡山市 40.8	5位 大阪府大阪市 52.5	5位 静岡県静岡市 56.8
5位 新潟県新潟市 29.8				5位 広島県広島市 56.8
20位 神奈川県横浜市 25.5	19位 神奈川県横浜市 38.3	16位 神奈川県横浜市 38.0	17位 神奈川県横浜市 49.3	8位 神奈川県横浜市 54.5

横浜市の 創造性バランス

創造性スコアを、偏差値にしてみました。

横浜市は21都市中、総合12位。【攻】の5指標で14位、【守】の5指標で13位という結果になりました。

【攻】の5指標では、「独立心（2位）」「芸術・文化（5位）」が高く、【守】の5指標では「地域愛（8位）」で高い結果となりました。

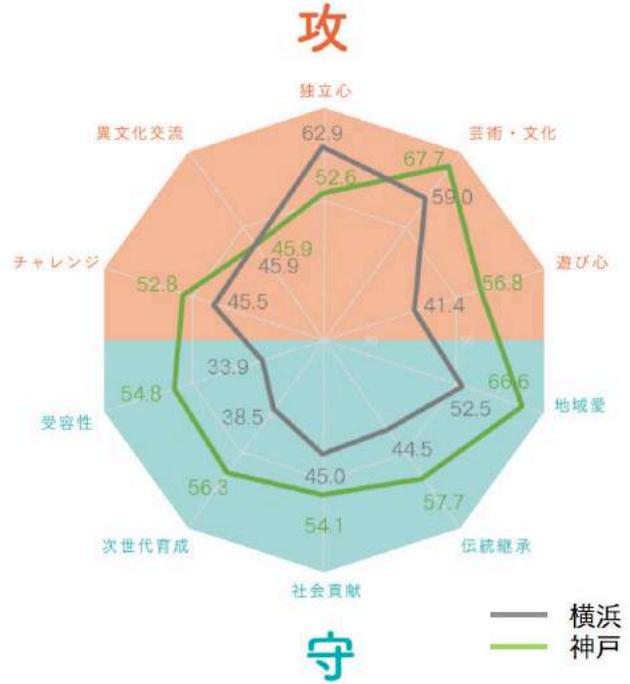


※このグラフはスコアを偏差値に換算して表示しています。

—
他都市との創造都市バランス比較

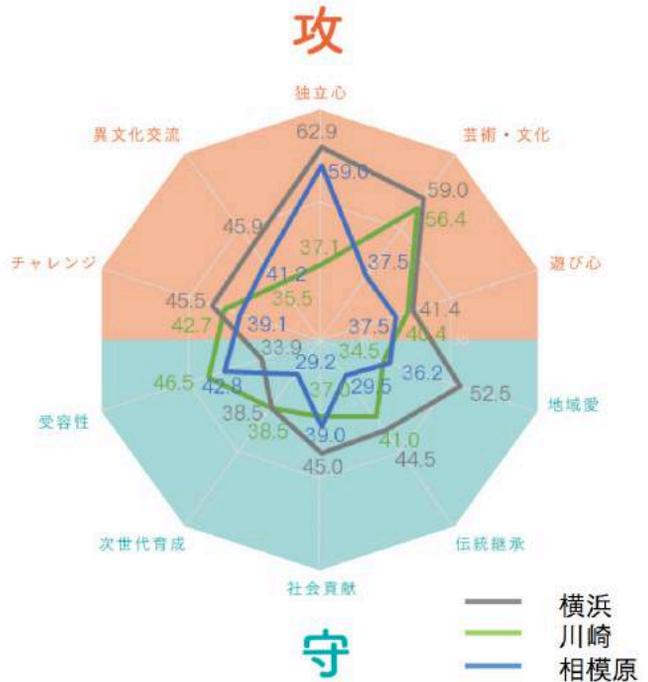
横浜 と 神戸

両都市とも「芸術・文化」が高く、「地域愛」のある都市の性格がみてとれます。横浜市は【攻】の「独立心」で神戸市より高く、神戸市は「受容性」「次世代育成」「遊び心」で、横浜市と差が出ています。神戸市は【守】全体が大きな円形となっている点でも差異がみられます。



横浜 と 川崎・相模原

神奈川県3都市でみてみましょう。3都市とも【攻】の指標側で、高い指標があるのが特徴です。横浜市は「独立心」「芸術・文化」、川崎市は「芸術・文化」、相模原市は「独立心」で平均よりも高い結果となりました。一方【守】では、横浜市の「地域愛」のみ、平均よりも高い結果となっています。



※このグラフはスコアを偏差値に換算して表示しています。

創造性を高める 都市インフラ

創造都市INDEX総合スコアと都市の生活環境項目の充実度との相関をみると、「1位 美術館・博物館」「2位 ナイトスポット（飲み屋・クラブ等）の質と量」「3位 商店街・中心市街地」と続きました。美術館・博物館といった直接的な項目だけではなく、人との接点が生まれる「ナイトスポットの質と量」「商店街・中心市街地」、地域ぐるみで取り組む「防災の施設・制度」といった、「人」とのつながりも都市の創造性を高めるようです。

横浜市は都市インフラ40項目のうち、34項目がトップ10内。下位項目は少ない結果となりました。

都市の創造性を高める項目として相関のある「商店街・中心市街地（3位）」「ナイトスポットの質と量（6位）」「地震、水害、火事等防災のための施設や制度（6位）」の項目でも上位の結果が出ています。

「レジャーや娯楽のための施設や制度」の充実度が1位、「買い物ができる店舗の質と量」は3位と、買い物環境やお店の充実度も高い点、繁華街として発展してきた横浜市を反映する結果になっています。

都市の創造性を高める生活環境項目TOP 5

- 1位 美術館・博物館 (0.4848)
- 2位 ナイトスポット(飲み屋、クラブ等)の質と量 (0.4403)
- 3位 商店街・中心市街地 (0.4349)
- 4位 地震、火事等防災の施設や制度 (0.4266)
- 5位 寺、神社、史跡などの歴史遺産 (0.4205)



※ ()は相関係数
0.7～：強い相関がある
0.4～≦0.7：中程度の相関がある
0.2～≦0.4：弱い相関がある
0.2以下：ほとんど相関がない

横浜市の生活環境項目（インフラ） 単位：充実度スコア*1

上位

- 1位 レジャーや娯楽のための施設や制度 (41.5)
- 1位 地域活動（ボランティアやまちづくりの活動）の機会や支援制度 (28.0)
- 1位 障害者支援のための施設や制度 (24.3)
- 1位 公務員（行政職員）の対応やサービス (23.5)
- 2位 地域の暮らしに関する自治体の情報提供 (24.0)
- 2位 創作・芸術活動の機会や支援制度 (23.3)
- 3位 買い物ができる店舗の質と量 (61.5)
- 3位 インターネット・通信環境 (52.3)
- 3位 公園、スポーツ施設 (48.8)
- 3位 商店街・中心市街地 (47.8)
- 3位 省エネ、低CO2、環境保護への取り組み (22.5)
- 6位 ナイトスポット（飲み屋、バー、クラブ等）の質と量 (38.0)
- 6位 地震、水害、火事等防災のための施設や制度 (27.3)

下位

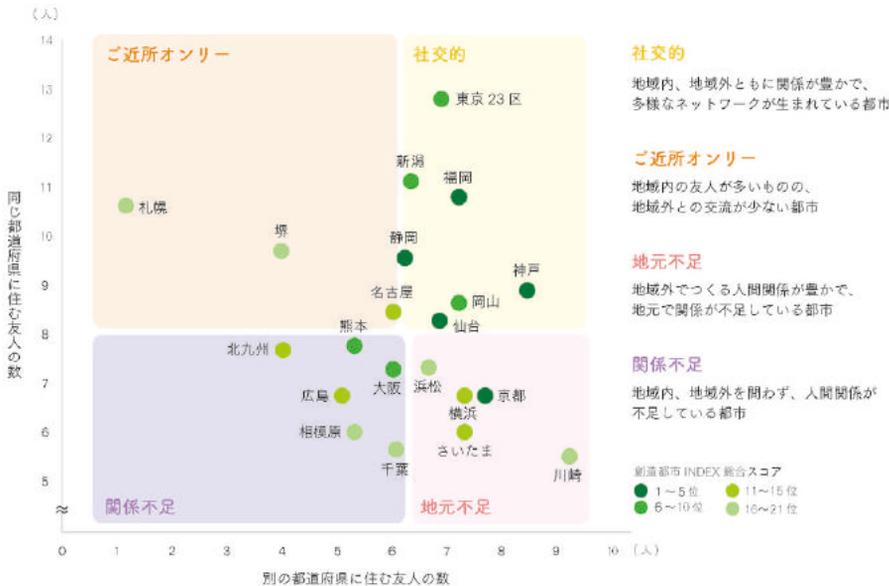
- 15位 工芸品、工業製品などの質 (17.8)
- 14位 農産物、水産物など食材の質や食文化 (23.5)
- 14位 山、川、海などの自然環境 (28.5)

*1 充実度スコアの算出方法
5段階評価（非常によく当てはまる、少し当てはまる、どちらともいえない、あまり当てはまらない、全く当てはまらない）のトップ2ボックス（非常によく当てはまる＋少し当てはまる）の合計%を足し上げて算出

創造性を高める 市民ネットワーク

都市の創造性は友人の数だけでなく、近距離・遠距離・異性・異世代など、住民の多様なネットワークと関連性があることがわかっています。「同じ都道府県に住む友人の数」を縦軸、「別の都道府県に住む友人の数」を横軸にマッピングし、4つに分類しました。横浜市のネットワークは「地元不足」。地域外でつくる人間関係が豊かな一方、地元での関係が不足する傾向にあります。

ネットワークの距離からみる21大都市分類



横浜市のネットワークの特徴として「別の都道府県に住む友人の数」「東京圏に住む友人の数」が高いことがあげられます。地元よりも「外」の傾向があります。一方で「年齢が10歳以上離れた友人の数」「同じ都市に住む、人生や仕事の相談ができる、サポートを受けられる友人の数」は19位と低い結果が出ています。

多様なネットワークは都市の創造性を高めることがわかっています。地元のつながり、多様なつながりを高めていくことは、今後の横浜市の創造性を高めていくヒントといえそうです。

横浜市のネットワーク

上位

- 3位 所属しているボランティアや地域活動、まちづくり活動のグループの数 (0.47)
- 4位 友人のうち、別の都道府県に住む友人の数 (7.4)
- 4位 友人のうち、東京圏(東京・神奈川・千葉・埼玉)に住む友人の数 (8.5)
- 4位 facebook等、SNSでつながっている友人の数 (37.8)

下位

- 19位 年齢が10歳以上離れた友人の数 (2.0)
- 18位 同じ都市に住む、人生や仕事の相談ができる、サポートを受けられる友人の数 (1.6)
- 17位 人生や仕事の相談ができる、サポートを受けられる友人の数 (2.7)
- 15位 友人のうち、同じ都市内に住む友人の数 (5.8)
- 15位 友人のうち、同じ都道府県に住む友人の数 (6.8)

その他 横浜市の特徴

21都市の行動、お金の使い方、時間、愛着についても調べてみました。横浜市をみていきましょう。

行動面では「公園への訪問（1位）」「動物園・水族館・植物園への訪問（2位）」「散歩、ウォーキング、ジョギング（2位）」と、外への行動があることが特徴です。お金面では「自分の洋服・ファッション」「健康・美容」「自分の教養」にお金を使っていることがわかりました。また、時間の過ごし方では、平日・休日ともに「家族で過ごす時間」が長い傾向にあるようです。愛着面では「現在住んでいる都市に誇りを持っている（4位）」と、横浜市民のシビックプライドがみてとれます。

行動 単位：年（回）

上位

- 1位 公園への訪問（小規模な地域の公園から大規模な自然公園まで含む）（20.31）
- 2位 動物園・水族館・植物園への訪問（2.21）
- 2位 散歩、ウォーキング、ジョギング（50.99）
- 4位 ボランティア・まちづくり・地域活動の参加（3.19）
- 4位 ホームパーティーの開催、参加（2.11）

下位

- 15位 演劇、音楽、映画などの芸術鑑賞（4.27）
- 15位 芸術、写真、デザイン、ものづくりなどの創作活動（7.18）



お金 単位：一ヶ月あたり（円）

上位

- 1位 自分の洋服・ファッションにかけるお金（10,859）
- 1位 健康・美容にかけるお金（7,155）
- 4位 自分の教養・勉強にかけるお金（4,295）
- 4位 内装・インテリア・家電など住まいにかけるお金（4,989）



下位

- 19位 通信にかけるお金（電話、携帯電話、インターネットなど）（8,985）

時間 単位：一日あたり (H)

上位

- 2位 平日、家族と過ごす平均時間（睡眠時間含まず）（3.80）
3位 休日、家族と過ごす平均時間（睡眠時間含まず）（7.25）

下位

- 16位 1日の平均テレビ視聴時間（2.30）



愛着 単位：愛着スコア *2

上位

- 2位 私は現在の仕事に満足している（33.0）
4位 私は現在住んでいる都市に誇りを持っている（52.0）
7位 現在住んでいる都市に今後も住み続けたい（68.0）

下位

- 21位 私は現在の仕事で、所属している組織
（会社、役所等）に利益をうみだしている（29.8）



*2 愛着スコアの算出方法

5段階評価（非常によく当てはまる、少し当てはまる、どちらともいえない、あまり当てはまらない、全く当てはまらない）のトップ2ボックス（非常によく当てはまる＋少し当てはまる）の合計%を足し上げて算出

*3 継続居住スコアの算出方法

5段階評価（一生住み続けたい、できる限り住み続けたい、どちらともいえない、いずれは他の都市に移り住みたい、できるだけ早く他の都市に移り住みたい）のトップ2ボックス（一生住み続けたい＋できる限り住み続けたい）の合計%を足し上げて算出

あとがき

横浜市の創造性は「独立心（人の目を気にせず自分のやりたいことをやる）」が最も高いあたり、いち早く文明開化の先駆けとなった歴史・土壌を感じます。人口も多く、お店も豊か。市民の消費も盛んな一方で、若い世代への施策や地元のつながり、多様なつながりについては、まだまだ可能性がありそうです。

共同研究先募集

「創造都市INDEX」を活用した共同研究や情報発信などございましたら、お気軽に下記担当までご連絡ください。

issue+design 創造都市INDEX 小菅・竹井

TEL：03-6441-7752

E-Mail：info@issueplusdesign.jp

HP：http://issueplusdesign.jp